

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年4月5日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4677500094
法人名	医療法人 おさしお会
事業所名	グループホーム きらら
所在地	鹿児島県鹿屋市吾平町麓3766番地1 (電話) 0994-58-5859
自己評価作成日	平成28年3月8日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成28年3月22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当ホームは母体医療機関に隣接して設置されており、地域医療福祉の拠点として、特別養護老人施設、介護老人保健施設、デイケアなどがあり、協力病院の訪問診療が月2回行われています。利用者様の体調は主治医・看護婦・職員・ご家族との連携を図り、日々の体調管理・緊急時や重度化した場合の対応ができる様支援しています。面会時は、お茶をお出しして、居室でご家族とゆっくりお話ができるようにしています。又 日頃の生活状況の報告やご意見・ご希望を伺っています。食事は利用者様の嗜好や行事食など、旬な食べ物を取り入れ季節感のある食事ができるよう心がけています。外出・外泊・外食など希望があれば、いつでも意向に添う準備があります。地域の皆さまとの交流の場を設け、馴染みの人や場所の関係が途切れないよう支援していきます。又 地域運営推進会議では、推進メンバーの方々によりよい施設作りのための意見など頂き、参考にしております。利用者様個々に合わせ、住み慣れた場所で安心・安全な その方らしい暮らしができる様支援していきます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は隣接して法人母体医療機関や特別養護老人施設・介護老人保健施設・デイケアなどがあり、地域の高齢者福祉の大きな役割を担っている。定期的な訪問診療や緊急時の対応などの医療のバックアップ体制が整っている。
- ・地域の文化祭に作品を展示したり、奉仕活動に参加するなど地域交流を積極的に進めている。さらに認知症についての相談を受けたり助言などをしたりして介護情報の発信の場となっている。
- ・利用者個々人が張り合いや喜びに繋げるように、手芸やぬり絵・リハビリゲーム・新聞購読・読書など、その人らしい生活ができるように支援している。
- ・管理者は日頃から職員とのコミュニケーションを図り、職員育成にも力を入れて働きやすい環境作りに配慮している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	きらら理念を利用者様・職員がいつも一望できるところに提示して、理念を把握し、日々の介護に活かしていけるよう努力している。	職員で話し合い改定した理念をホールに大きく掲載している。パンフレットにも掲載している。ユニット会議や職員会議で振り返り、年1回理念について見直しも含めて話し合い実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の奉仕活動に参加し、交流を図っている。地域の文化祭に積極的に参加している。利用者様の作品を出品し、当日、見学に出かけている。	自治会に加入し、総会や奉仕活動に参加し、文化祭には作品を展示し見学参加をしている。ホームのバイキングやサマーフェスタに参加してもらったり、野菜の差し入れをもらったり、相談を受けたり、幼稚園児との交流や中・高校生の職場体験、看護学生の実習、ボランティアの受け入れなど、日常的に交流がある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の中・高生の職場体験・看護学生のボランティアや実習に取り組んでいる。地域のサロンの方々との交流会を実施している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回定期的に開催し、活動報告・行事案内・取り組み運営についても意見・助言をして頂き、サービス向上に活かしている。	会議は定期的に行われ、事業所の運営や現状報告・外部評価の報告などを行い、意見交換を行っている。出された提案で、直通電話の整備や蓄光テープの貼布などを設置し、サービス向上に活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市町村担当者の方々に行事や会議に参加してもらい、意見や提案を頂くなど、協力関係を築いている。	市の担当者とは日頃から利用者の報告や連絡・相談を行い情報を交換して助言を貰っている。市主催の研修会にも積極的に参加し、事業所の行事にも参加してもらうなど、相互協力関係が築かれている。生活保護の担当者とも連絡し合っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	職員研修・勉強会を行ない意識を高め、禁止の対象となる具体的な行為を理解できるようにしている。	法人の身体拘束廃止委員会でマニュアルに沿って年1回研修会を実施している。ユニット会議でも事例や課題に基づいて勉強会を行って、職員の共通認識を図り、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。言葉による拘束についても日々確認し配慮している。玄関は昼間は施錠せずに、職員間の連携で安全な暮らしを支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>ミーティング時など高齢虐待防止法等を音読し、防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>必要時に活用できるように、勉強会に取り組み支援できるようにしている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>重要事項説明書をわかりやすく説明して、理解・納得して頂いている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>苦情窓口を表示し、苦情・意見・要望を速やかに検討し、利用者・家族へ報告している。運営推進会議で報告・助言を頂き、運営に反映している</p>	<p>利用者からは日々の関わりの中で、思いを聞いている。家族からは面会や家族会などで意見を聞く機会を設けている。家族会は、年2回、行事を兼ねて実施している。家族のみの話し合いの場も提供している。毎月便りや状況報告をしている。出された意見や要望等は職員で話し合い運営に反映させている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	ミーティング・ユニット会議で話し合い、反映できるようにしている。	管理者はユニット会議等で職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映を図るよう心がけている。相談事は個別に聞き適切にアドバイスをしている。提案により、事故防止のために、センサーチャイムを設置したり、酸素濃度の把握・浴室のてすりや暖房機の設置、入れ歯の件や寝巻の更衣について等、運営に反映している。	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	勤務や有休の希望が取れる環境であり、その日に必要な人員確保の調整が出来ている。		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	職員が順番に外部への研修へ参加し、内容を報告して職員間で情報を共有し、職員1人1人の能力向上に努めている。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	市内の連絡協議会に研修参加し、他施設での取り組みなどを聞き、職員間で情報を共有し、サービスの質の向上の努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入所前の情報提供を把握して、ご家族からの話しを職員間で共有し、本人様が安心できるよう気配り・見守り・声かけし、関係作りに努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>面会に来てくださった時に、思っている事、自宅での状況をお聞きして、安心して頂けるように努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人様・ご家族様からの情報を元に、まず必要としている事を職員間で話し合い対応するように努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>皆さまの思いを理解し、日々の生活の中、助け合って生活できるように声かけしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>生活状況・本人様の要望・思いを報告して共存し、ご家族様と協力しあえるように関係作りに努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>住み慣れた場所をドライブしたり、デイの利用者様との交流・友人との面会などと、本人様の馴染みの人・場所の関係が途切れないように努めている。</p>	<p>近所の人々の訪問やデイを利用しての友人との交流を奨励している。馴染みの店で趣味の手芸の材料の買い物に出かけている。美容師の訪問美容などもあり、関係が途切れないよう働きかけている。家族の協力を得て外出や外食・墓参などの支援もしている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者様間での関係が円滑に行くよう職員による仲介・個人の精神面を考慮したテーブル配置等行なっている。利用者様間でコミュニケーションが図れるよう努めている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>継続的な関係作りの為、グループ内へ移られた利用者様の面会、他施設へ移られた方は、その施設との情報交換を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの要望をお聞きして取り入れられるよう努めている	日々の関わりの中で意見や要望を聞き、意向の把握に努めている。利用者への担当が個々に関わり、本人が望む暮らしを支援している。ミーティングノートや気づきノートから職員間で情報を共有している。困難な場合は、家族や職員間で話し合い利用者の視点に立って本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人様やご家族へこれまでの経過等お話し、把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	1人1人を観察し、現状把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員で情報を共有し、本人様・ご家族様の要望を取り入れながら、現状に即した介護計画を作成している。	本人や家族の意向を汲み取った上で、主治医や必要な関係者の意見も反映させ、担当者会議で話し合い、ケアチェック表を基に、個々に応じた介護計画を作成している。毎月モニタリングを実施し、6ヶ月毎に見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>利用者様の1日の様子や身体の状態を記録に残し、職員間で情報を共有しながら、個々のケアに努めている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>個々に合わせたケアができるよう 本人様・ご家族様へ要望を聞きながら、ニーズに対応している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>ボランティアの受け入れ、近隣者の方々との交流・文化祭への参加・出品・見学等 地域の方々との交流ができるよう支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>協力病院の訪問診療が月2回実施している。本人様・家族の希望で身体状況に合った病院への受診支援している。</p>	<p>本人や家族の希望で、母体医療機関がかかりつけ医となっており、月2回の訪問診療がある。他科受診は家族の協力を得ながら支援している。協力医療機関との24時間医療連携が取れており、緊急時の体制も整っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	連携を図り、急変対応ができるようにしている。情報提供に努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は、医療機関との密に情報交換で入院者様の状態を把握するよう		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期に向けての説明を本人様・ご家族様に行い、意向も確認している。	契約時に重度化や終末期に伴う対応の指針を説明し同意書を貰っている。基本的に見取りはしていないが、段階的に、かかりつけ医や職員が説明し家族の意向や希望を聞きながらホームで対応し得るケアについて十分に話し合い医療機関や関係機関と連携し、チームケアに取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急体制マニュアルを作成してシュミレーションを行なっている。緊急搬送時には、救急隊への情報カードを作成している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>月1回 職員・利用者様・近隣の方々に消防訓練を行なっている。地震からの火災想定も取り入れている。消防署立会いの訓練も行なっている。</p>	<p>年1回消防署立会いのもと、昼夜想定避難訓練と、毎月1回自主訓練を実施している。地震からの火災想定も取り入れている。スプリンクラーや緊急通報装置も設置し、その他の防災設備もある。防災頭巾もそろえている。地域住民や法人事業所との協力体制もできている。災害時の水やレトルト食品・缶詰・菓子が2～3日分ある。長期の分は老人保健施設に備蓄がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	勉強会などを通して情報を把握し、職員間の話し合いでお互いの意識向上に努めている。	利用者の人格を尊重する言葉かけや対応に留意している。定期的に勉強会を行って、職員の資質向上に取り組んでいる。排泄や更衣時・入室・入浴時の言葉かけ等、職員の意識向上を図り利用者の尊厳あるケアを支援している。名前は「さん」付けて呼んでいる。	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	本人様の意向を尊重し、何をされたいのか・どういう思いなのか自己決定して頂けるように声かけしている。		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	利用者様の、個々のペースで生活して頂けるように努力している。		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	その人らしい見だしなみや好みの色合いを選んで頂けるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様の好き嫌いを把握できるように情報を共有し、肉・魚・野菜など偏らないようにメニューを取り入れ、提供している。旬な食材を取り入れ季節を感じるができるようにしている。	菜園の野菜や旬の食材で利用者の嗜好に配慮し、献立や食事形態を工夫している。利用者の可能な範囲で準備や片づけを職員と一緒にしている。誕生会や季節の行事食・バイキングなどで食べる楽しみを工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1人1人の食事や水分の摂取量をチェックし、少ない時は品・時間・場所等の工夫をしながら確保できる支援を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアは個人の有する力に応じ、支援を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄パターンに合わせた定期的な声かけ・トイレ誘導を行っている。	排泄チェック表でパターンや習慣を把握して声かけや誘導を行いトイレでの排泄を大切にしている。水分調節や食材を工夫し、自然排便と排泄の自立を支援している。リハビリパンツをパンツに変えたりして排泄の自立に成功し排泄用品代も減少している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	繊維を多く含む食材の取り入れる工夫やラジオ体操など身体を動かし、便秘予防に努める。又水分補給にも努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週3回入浴を基本として実施しているが、希望時には入浴できる対応している。1人1人のペースに合わせて、入浴を楽しめるよう、個々に応じた支援を行っている。	入浴は基本的に週3回であるが、利用者の希望に添って毎日でも入浴は可能である。入浴は全員が好きで、入浴順番表がある。入浴を拒む利用者には声かけや時間調整など職員間で連携して、入浴を楽しめるように支援している。家族会を温泉場で開催し一緒に入浴し楽しんでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の活動を工夫して就寝前に向けての生活リズムに配慮している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	用法・容量・副作用を確認理解している。症状変化時は主治医へ報告し、指示を仰いでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	洗濯たたみや掃除・レクレーション・カルチャー・手芸・ドライブ等、張りのある生活支援を行っている。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	希望や意向に添いながら、買い物・ドライブ・散歩等、外出支援を行っている。ご家族様のご協力を頂き、外出（買い物・外食・墓参り等）ができています。	日常的には近隣の散歩や隣接のデイサービス・老人保健施設の売店での買い物などに出かけている。年間計画で季節ごとの外出行事で水族館見学や温泉での家族会に利用者も参加している。家族の協力を得ながら外出や外食・墓参などにも支援している。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	お金を預かり、買い物の際、利用者様へ渡し、支払いされている。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	希望される時は電話の取次ぎを支援している。携帯電話を持っている方もいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を取り入れた展示物を飾り、季節を感じる。又室温や照明など工夫して、居心地の良い空間作りに努めている。	玄関入り口には季節の花が植えてあり、共用の空間は天井が高く天窓がある。四方に大きな窓がありホールは広く開放的で採光や換気・温度・湿度に配慮し清潔である。壁には文化祭に出展した作品が多数飾られ、利用者の意欲が感じられる。ソファもあちこちに据えられ好きな場所で過ごせるような工夫がされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有の場所にテーブル・椅子・テレビを置き、思い、思いに過ごして頂けるよう努めている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた物を持ち込み、本人様が安心して過ごせるようにしています。	居室の入口の床にはカラーの目印があり、三角や星形等のマットが埋め込まれ分かりやすい。居室は本人の作品を飾ったり、テレビやソファ・テーブル・いす・位牌・本・写真・電気治療器等、使い慣れた物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、安心して過ごせるような工夫がされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホール・トイレ・浴室等必要な場所に手すりが設置されており安全な環境作りをしている。個々の有する能力に合う自立支援を行っている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない